記者発表資料

水資源機構

令和７年５月２２日
独立行政法人水資源機構
木津川ダム総合管理所

川上ダムは洪水期に備えて洪水を貯めるための容量を確保します

～ダム下流で河川水位が上がります～

川上（かわかみ）ダムでは令和３年１２月から試験湛水を行っており、洪水時最高水位（標高２７６．９ｍ）まで貯留した後、水位を下げる計画ですが、洪水期（６月１６日～１０月１５日）には、治水機能を発揮するため、大雨に備えて洪水を貯める容量を確保する必要があります。

このため、５月２３日からダムの貯水位を徐々に低下させ、６月１５日には洪水貯留準備水位（標高２６０．７ｍ）まで水位を下げます。

この間、ダムからの放流量が増えるため、河川の水位が上昇しますので、河川内に立ち入る際は、ご注意ください。

発表記者クラブ：　伊賀記者会、名張市政記者クラブ

お問合わせ先 ： 木津川ダム総合管理所
川上ダム管理所 所長 出尾（いずお）
電 話：０５９５（５２）３６９０

（参考資料）

川上ダムの概要

■ダムの諸元

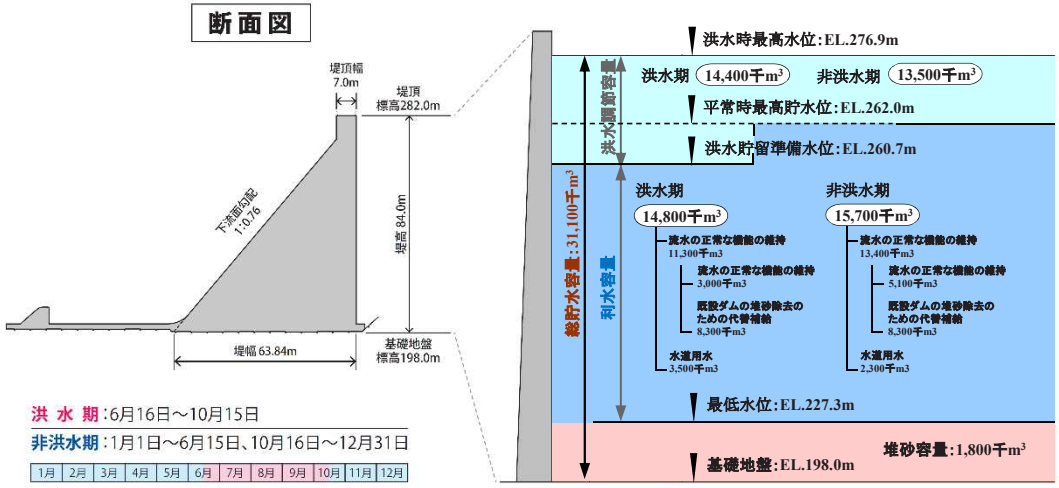
ダム型式　：　重力式コンクリートダム
堤 体 積　：　約455千m^3
堤　　高　：　84.0m
堤 頂 長　：　334m
湛水面積　：　1.04km^2
流域面積　：　54.7km^2
管理開始　：　令和5年4月

■ダムの目的

1．洪水調節
　前深瀬川、木津川沿川および淀川本川の洪水被害を軽減することを目的にダム地点における計画最大流量850m3/sのうち780m3/sをダムに貯留し、70m3/sをダムから放流する。

2．流水の正常な機能の維持
　前深瀬川や木津川の河川環境の維持・保全等、流水の正常な機能の維持を図る。

3．既設ダムの堆砂除去のための代替補給
　木津川上流にある既設ダムの堆砂除去のための代替補給の容量を川上ダムに確保し、既設ダムが堆砂除去する際、既設ダムの代わりに下流に必要な水を放流する。

4．水道用水
　伊賀市の水道用水として、最大0.358m3/sの取水を可能とする。

■貯水池容量配分図